

【第2回 サタデーサイエンス】

日時：5月23日土曜日 10時～12時

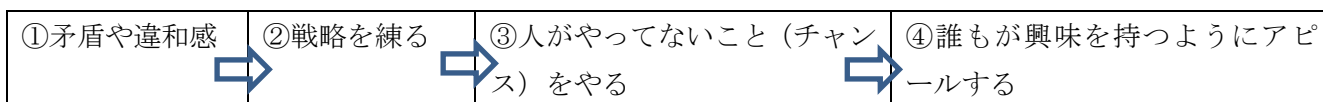
講師：中川知己先生（本校特別非常勤講師）

概要

本校の2年次生が取り組むサイエンスリテラシーⅡの植物コースで生徒たちをご指導いただいている中川知己先生が、1年次生のサタデーサイエンスで、「研究テーマを設定するうえで大切なこと」という内容で講演をしてくださいました。中川先生は、植物の研究の専門家としてはもちろん、研究テーマの戦略的な設定のための指導という部分でも、非常に指導力をお持ちの先生です。その研究が価値を持つかどうかはテーマ設定の段階でほぼ決まる、をコンセプトに、生徒たちにお話してくださいました。特に大事だとおっしゃったのは次の点でした。

- ・自分が矛盾や違和感を感じたら、それがテーマになるチャンスである。
- ・非常識にも常識にも理由がある。その理由を疑う。
- ・定説と言われていることも疑ってかかる。
- ・問題の答えを探すのではなく、その問題の原因を突き止める。
- ・その問題についてのアプローチまで考えて、初めてアイデアとなる。

さらに、研究を行うにあたってのサイクルもお話してくださいました。



実際に中川先生がご指導された本校卒業生の研究テーマを題材にし、矛盾や違和感を感じたこと、そこからどのようにテーマにつなげられるかということを生徒たちに考えさせ、発表とディスカッションを通して、卒業生がたどった思考過程を体感させながら、テーマ設定をすることを体験させていただきました。

最後には生徒たちが、「ペンギン」「鳥」「魚」「飛行機」の画像を見て、違和感や矛盾点や疑問点を抱き、それがどのようにテーマにつなげられるかを考えてみる演習を行いました。30人以上の生徒が自分の意見を発言し、中川先生と意見交換を行いました。240人の講演ではありましたが、生徒たちが自ら考えるアクティブラーニングになったのではないのでしょうか。2年次生になりSLⅡが始まった時研究ができるのではない、自分が矛盾や違和感を感じた時、それが研究の始まりである、そんなことを感じた講演でした。

